

桜 だより

鹿児島大学病院広報誌



48号 新病棟(B棟)が完成しました
2018.3

新病棟(B棟)が完成しました

鹿児島大学病院の再開発整備事業として建築中であった新病棟(B棟)がこのほど完成し、2月2日に関係者を招き竣工式が行われ、学内外の約80名が出席しました。

式では、前田芳實学長から「新病棟竣工により、より高度でかつ良質な医療の提供と医学・歯学の研究、教育、そして地域医療の拠点として、皆さまの期待にこれまで以上にお応えできる最新、最先端の病院となることを確信しています」と挨拶があり、夏越病院長からは「教育・研修や高度な医療技術の開発、評価及び研究、患者本位の質の高い医療の提供など、職員全体で一致団結して取り組んでまいります」と挨拶がありました。

続いて、文部科学省文教施設企画部 山崎技術参事官、鹿児島県保健福祉部 塩田次長、鹿児島県医師会 池田会長、前田学長、夏越病院長、又木副病院長の6名によるテープカットが行われました。



新病棟B棟(夜の景観)



式辞を述べる夏越病院長



テープカットの様子

B棟フロア案内

9F リハビリテーション室・作業療法室・言語聴覚療法室・水治療室

8F 病室(血液・膠原病内科、泌尿器科)

7F 病室(眼科、皮膚科)

6F 病室(産婦人科)・観察室・NICU・分娩室

5F 病室(呼吸器内科、呼吸器外科、消化器外科)・観察室

4F 病室(心臓血管内科、心臓血管外科)・観察室・血管造影室

3F 病室(歯科、脳神経外科)・観察室・放射線治療病室

2F 病室(1床18室)・超音波室(15室)・心電図室(4室)脳波室(2室)・筋電図室(3室)

1F X線一般撮影室(4室)・透視検査室(4室)・CT検査室(3室)・MRI検査室(3室)
骨塩定量室(1室)・X線乳房撮影室(1室)

B1F リニアック室(2室)・RALS室(1室)・SPECT-CT室(3室)・PET-CT検査室(2室)

B棟整備コンセプト

新病棟は、地下2階 地上9階建(延床面積18,101㎡)の免震構造で、316床を配置し、地下1階から1階に放射線部、2階に生理検査部・病棟、3階から8階には病棟部門を配置し、渡り廊下によりC棟と接続することで病棟間の連携・効率化を図っております。また、9階にはリハビリテーション室を配置し屋外訓練施設の整備を行ないました。

医療環境体制の充実化

- 放射線(検査・治療)部門 …… 検査・治療のセクション毎にスペースを集約化し効率化
- 生理検査部門 …………… 超音波検査ブースの増室、個別化
- 周産母子センター …………… NICU・分娩関係諸室の拡充整備
- リハビリテーション部門 …… 屋内訓練室の拡充整備、屋外訓練施設を新たに整備

療養環境の向上への取り組み

- 個室の増床
- 内装仕上は木目調を基調に安らぎ空間を演出
- 照明設備は好みに合う最適な光へ調光可能な設備導入
- ベッド毎に風量調整可能な空調設備導入

防災機能強化

- 免震構造の採用、非常用排水槽の設置
- 配管の耐震化、供給元の二重化
- 災害時の医療ガス供給体制整備
- 電力の2回線受電



多床室



特別室



分散洗面所



分散トイレ



廊下



ダイニング



スタッフステーション



第1リニアック室



MRI装置



分娩室



NICU



屋外訓練施設



鹿児島大学病院での薬剤耐性菌対策

もともと有効であった抗菌薬(抗生物質)の不適切使用等により抗菌薬が効かなくなった細菌を薬剤耐性菌と呼びます。薬剤耐性菌は医療従事者の手洗い(手指衛生)の不足、医療環境・器具の消毒の不備という要因により医療機関内で拡大しましたが、院内感染対策の取り組みにより多くの薬剤耐性菌は減少しました。しかし医療機関外でも薬剤耐性菌がみられるようになり、一部で抗菌薬が全く効かない高度耐性菌も出現しました。

世界的に薬剤耐性(antimicrobial resistance; AMR)対策が問題になっており、2015年のWHO(世界保健機関)総会でAMR対策グローバルアクションプランが採択され、日本政府も2016年にアクションプランを策定しました。

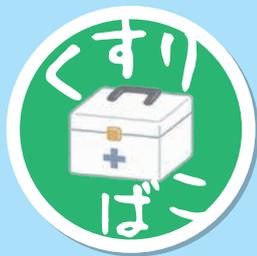
当院では感染制御部門のスタッフを中心に病院全体でチームを作り、AMR対策を行っています。例えば、抗菌薬の選択や投与量あるいは必要性について感染症専門医や専門薬剤師が処方医へアドバイスをするなど、薬剤耐性菌をつくらないための適正使用をすすめています。さらに感染対策専門看護師の指導のもと、スタッフみんなが手指衛生を遵守し、耐性菌を広げない予防策を行っています。当院は院内に細菌検査室があり、問題となる病原体の検出時に専門検査技師が迅速にスタッフへ連絡し、情報共有できる体制も整えております。病院を利用される皆様も、こまめな手洗いの実施や、処方された抗菌薬は決められた量と服用期間を守る、抗菌薬は自己判断で服用しないなど、AMR対策にご協力ください。

当院では皆様への診察前や病室入退室時に医療従事者はアルコール手指消毒を実施することがルールとなっております。実施していない場合は遠慮なくお声がけください。

AMR対策については、内閣官房国際感染症対策調整室ホームページもご覧ください。

www.cas.go.jp/jp/seisaku/infection/activities/amr.html

当院では治療効果が確実で、副作用の少ない抗菌薬投与の研究を実施しています。当院薬剤部・感染制御部門所属の茂見茜里薬剤師は代謝の速い人と遅い人で薬効や副作用の現れ方に差のあるポリコナゾールという抗真菌薬(カビの治療薬)の安全で有効な投与方法を検討し、日本外科感染症学会の炭山賞を受賞しました。より良い感染症診療を提供できるよう今後も努めてまいります。



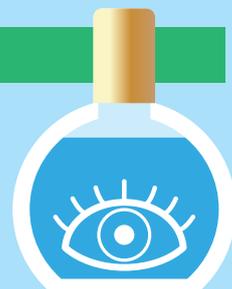
点眼薬の疑問に答えます

点眼薬は子供から大人まで使用したことのある方は多いと思いますが、使い方を誤ってしまうと副作用のおそれや十分な効果が得られないことがあります。そこで、点眼薬についてよくある質問と、知っているようで知らない正しい使い方についてご紹介します。

点眼薬の基本的な使い方

- ①手を石鹸でよく洗ってください。
- ②下まぶたを軽く引き、容器の先がまぶたやまつ毛に触れないようにして、確実に点眼してください。
一般的な点眼薬の1回の点眼量は片眼1滴ずつで十分です。
- ③点眼後はしばらくまぶたを閉じるか目頭を軽く押さえてください。
- ④あふれた点眼液は清潔なガーゼやティッシュでふき取ってください。

点眼薬の中には、よく振ってから点眼するものや使用時に患者さんご自身で錠剤や粉末を溶解液に溶かす必要のあるものもあります。また、液体の点眼液のほか、眼軟膏が使用されることもあります。医師や薬剤師から指示された使用方法を正確に守って使用してください。



複数の点眼薬が処方されたときの使用方法は？

先に点眼した薬液が後から点眼する薬液によって流されてしまうのを防ぐため、5分以上の間隔をあける必要があります。点眼する順番は医師や薬剤師の指示に従ってください。また、ゲル化する点眼薬*の場合には10分以上の間隔をあけて最後に使用してください。これは、ゲル化した点眼薬の影響で他の点眼薬の吸収が妨げられたり、他の点眼薬と混ざること十分にゲル化しなくなったりするおそれがあるためです。

※1日1回点眼するだけで、24時間効果が続くように開発された点眼薬です。使うときには液体ですが、点眼した後に涙液や体温に反応してゲル状に変化します。

点眼薬の副作用は？

眼の痛み・かゆみ・充血など、眼局所の副作用がほとんどですが、必要以上に点眼した場合やまばたきにより薬液が鼻やのどへ流れ、苦みを感じたり、鼻の粘膜から薬剤が吸収されることで全身性の副作用が起きたりする場合もあります。決められた用量を守り、点眼後はまばたきをせずにしばらくまぶたを閉じるか目頭を軽く押さえるようにしましょう。

点眼薬の使用期限は？

容器に記載されている使用期限は開封前の期限です。開封後の使用期限は1ヵ月を目安に考え、濁り等が見られたら、1ヵ月以内でも使用をやめましょう。一般的な点眼薬1本分の液量は、点眼回数を守れば1ヵ月以内で使い切る液量となっています。ただし、防腐剤の含まれていない使い捨てタイプの点眼薬や使用期限の短い用時溶解型の点眼薬もありますのでご注意ください。

保管する際は「冷暗所保存（冷凍室には入れない）」などの指示がある場合はそれに従い、特に注意がなくても直射日光を避け、なるべく涼しい所に保管してください。点眼薬には、光が当たると分解しやすい成分が含まれていることがあり、遮光保存の必要がある場合には必ず添付の袋に入れて保管してください。

参考資料：じほう 「これだけは知っておきたい 眼科領域のくすりとケア Q&A」
参天製薬 ホームページ
日本眼科用剤協会 点眼剤の適正使用ハンドブック Q&A

表紙の写真

(左)今回整備の新病棟 B棟 / (右)H25整備済のC棟
中央診療施設と病棟部門を併設したB棟が竣工しました。
地下2階、地上9階建で病床数は316床となります。鹿児島
大学病院は、より高度でかつ良質な医療の提供を目指し、
職員一同、一致団結して取り組んでまいります。

鹿児島大学病院広報誌 桜ヶ丘だより〈48号〉

2018(平成30)年3月発行 発行/鹿児島大学病院広報委員会広報誌編集部
〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号 TEL 099-275-6692
<http://com4.kufm.kagoshima-u.ac.jp/>

*「桜ヶ丘だより」への皆様方からのご意見・ご感想をお待ちしております。